

患者さんへ

採血・注射を安全に行う為のお願い。

※採血を「安全」に「間違いなく」行うために、ご本人確認をさせていただいておりますのでご協力くださいますようお願いいたします。

※血管壁の硬くなっている人や厚くなっている人、細い血管あるいは穿刺しにくい血管しか選択できない場合などは採血をやり直させていただくことがありますのでご了承ください。

下記に該当する患者さんはスタッフにお申し出下さい。

- ・採血でご気分が悪くなる方。
- ・ワーファリンなど血を固まりにくくするお薬や血液をサラサラにするお薬を飲んでいる方。
- ・血液透析中の方、乳房切除手術を受けられた方。
- ・止血用テープにかぶれやすい方、消毒薬（アルコール）まけや手袋（ラテックス）にアレルギーをお持ちの方。

ごくまれに以下のような合併症の報告があります。 ご承知ください。

◇止血困難・皮下出血

採血（注射）後、5分程度圧迫止血することで防げます。なお、皮下出血があってもほとんどが1週間～3週間ほどで自然に治ります。

◇血管迷走神経反射（採血前後の気分不良）

不安緊張の強い方では、採血（注射）中あるいは直後に一時的に血圧が下がる事があります。なお、通常横になって休めば回復しますが、ご心配で横になっての採血を希望される方はお申し出下さい。

◇神経刺激症状

針を刺す時に末梢神経に針先が触れる場合があります。皮膚表層の神経分布は個人差が大きく、これらを完全に予見・予防することはできません。針を刺した時に手や指に走る痛みやしびれを感じた場合はすぐお知らせください。

多くは1週間以内に、大部分は3か月以内に改善します。

ご不明の点、ご不安な点がありましたら、ご遠慮なく医師、看護師にお尋ねください。

院長